



小原力三 議員

# 松くい虫防除 談合疑惑の影響は？

空中散布は  
無事に実施できた

町長

**問**

①農林水産大臣は談合問題に火を付けただけで、その後は何も言わないが、どう考えるか。

②県は不都合なことを市町村に押し付けているように感じるがどうか。

③松くい虫防除は、これからも随意契約か。



松の保全は大切な事業

## 答 森田町長

①本町にはその後の経過連絡がきていない。そのため、詳細はわからない。

しかし、指導改善の最中で、結論はまだ出ていないと思う。

②平成16年に県で農

薬もれの事故があり、県は空中散布を中止した。しかし、県も松を守る必要があるので、市町村が主体の補助事業にしている。県からの指導もあり、財政面も変わらないが、事務量が增大している。

③山を守るため、そうしたい。

## 問

①大山診療所は、変則的な外来診療で継続されている。住民が望む地域医療は、近くに入院施設や介護施設があることだと考えるがどうか。

## 答 森田町長

②施設のリースや売却も検討が必要では。

福祉介護施設としての利用は可能性がある。より有意義な利用方法の研究をし、平成23年4月の運営開始を目標に進めていきたい。

② 固定医確保にこだわらないような検討も必要。

# 大山診療所の 活用策は？

町長

入院施設にこだわらない



2階が利用されていない大山診療所